

社民党

# 渡辺みのる通信

● 第 23号 ●

発行日 / 2013年(平成25)4月(3月議会号)  
 発行 / 渡辺みのる後援会  
 石川町大字北山形字引地1  
 電話&FAX 0247-26-6994  
 携帯 090-2798-0434



写真説明

春を代表する花、カタクリの群生地(群生地とは、同じ種類の植物が密集して生える場所のこと)に足を踏み入れました。人知れず、何十年もかかって、一株一株増やしていったのでしょうか。春の妖精とは本当に名の通りです。

## 木々の新緑や道ばたの花から 感動とパワーを受け取ろう

さくらの開花とともに、私たちの周りは一気に、動植物の精気に包まれ、農作業におわれる日々です。

3月議会は、3月7日(木)から15日(金)まで、新年度の予算(案)や法律の改正によって、今まで国で定めていた介護施設、町道、河川施設の規準などを定める町条例の制定(12条例)、24年度補正予算(案)を審議しました。

さらに、教育委員に田口和憲氏(60歳)を任命することに同意致しました。

3月、4月は卒業や退職、入学や就職、転勤など、別れと出会いの季節です。

新しい環境の中で、新たな決意を固め、一歩踏み出す時ではないでしょうか。

一輪のスマイルにも、足を止め、感動とパワーを受け取ろう。

山橋のイメージキャラクター

## 「石ころ多」が全国ゆるキャラ サミットに参加

大小の石が転がっている山橋地区から生まれた「石ころ多」は日本大学食品経済学科の中尾麻甫さん(神奈川県在住)が生みの親。生年月日はいしころ元年1月4日(いしの日)11歳で、山橋地区のPRに奔走中です。

3月24日にビックパレットで開催された「福島ゆるキャラ万博」に参加し、準優勝を獲得。県内33キャラとゲストに「くまモン」なども参加しました。

また、今年の11月は「ゆるキャラさみっと in 羽生」に参加予定です。

山橋まちづくり委員会では、「石ころ多」をさらに有名にし、地域づくりに大きく踏みだそうと意気込んでいます。



## ◆一般質問から◆

**渡辺：上水道の浄水場建設は、上流取水口の水利権は****町長：25年度中に取水量、水利権の可能性を判断したい**

3月議会での一般質問は、「水道事業計画の進め方」「指定管理者の現状と課題」「鉱物の町、ジオパークの設置」の3点について、町長の考えをいただきました。

**渡辺** 水道事業計画は、給水人口1万人の生活を支える重要課題であるが、町長の考えは。

**町長** 平成19年につくった計画で、「沢田及び山橋地区の簡易水道と上水道の統合」「石綿セメント管及び老朽鉄管の更新」「玉川村と共同で行う水道用水供給事業」「給水区域の一部拡大」が主な事業となっています。

簡易水道との統合は28年度までに連結管や配水池を整備予定です。石綿管の更新は59%が済んでおり、33年度までに完了予定です。玉川村との共同事業は、先ず取水地点の確定が大事であり、今年そのため予算を計上しました。

この事業は、避けて通れない課題と考えています。

**渡辺** 取水に伴う水利権はどうなっているのか。

**町長** 北須川、毎秒0.083m<sup>3</sup>で、現在はダムの中から取水しています。

**渡辺** 上流平田川からの取水は可能か。

**町長** 取水量の確保、水利権の可能性は平成25年度に判断したい。

**渡辺** 計画では25年度に玉川村との企業団を設立し、31年度に供用開始するとなっているが遅れている。浄水場の耐震診断をするべきでないか。



▲3月23日、福島市で開催された「原発はいらない県民集会」

**町長** 診断を行い、必要なところは耐震補強を行う。

**渡辺** この事業を進めるには、技術者を含めて、体制の充実が必要であるがどう考えているのか。

**町長** 資金計画が重要であり、水道料金の値上げも検討せざるを得ない。玉川村との合意に向けた取組を強めたい。更に、必要な体制や手法を構築していきます。

**石川共同福祉施設を****小・中学校音楽祭ができるように**

**渡辺** 町は平成18年から指定管理者を導入したが現状はどうなっているか。

**町長** 石川共同福祉施設や老人デイサービスセンター長生園、老人福祉センターなど5施設を指定管理者で効率的、効果的な管理をしています。

しかし、施設は老朽化しており、今後の課題です。

**渡辺** 施設利用者の声を聴く機会を持つべきでないか。

昨年、町文化協会より「文化施設充実の要望書」が出されたが、事前に利用者の意見を聞くべきでないか。

**町長** 今後定期的な意見交換ができるようにしたい。

**渡辺** 石川共同福祉施設を小中学生が音楽祭に使用できるような施設に整備して欲しい。

又、自治センターの指定管理者導入は今までの施設と違うので慎重に対応して頂きたい。



▲真下から見る東京スカイツリー

**これでいいの! 「子や孫を再び戦場に送るな」です**

安倍内閣が誕生し、経済再生・デフレ脱却を進めながら参議選後、憲法改正に焦点を当てています。

先ず、憲法96条を改正(憲法改正発議を3分の2から2分1に改正)、さらに、集団的自衛権の行使も国家安全基本法(仮称)制定し、憲法解釈によって行おうとしています。

集団自衛権の行使とは、同盟国が攻撃を受けたときに日本も共に戦うというものです。

そして、国民の抵抗の強い9条(戦争放棄、戦力及び交戦権の否認)を改正し、自衛隊を国防軍に改組し、海外でも軍事行動ができるようにするものです。

自民党の憲法改正案を見ると、徴兵制まで視野に入っているようです。今の衆議院では自民党と維新の会だけでも3分の2を超えており、参議院も3分の2を超えれば、9条改悪が現実のものになります。

昭和元~20年までに、石川町民631人が戦死していることを忘れてはならない。

◆一般質問から◆

**渡辺：石川ジオパークの設置及び  
原爆製造研究の歴史・史跡保存の考えは  
町長：ジオパークは検討課題で、25年度に  
原爆製造史を出版、史跡保存も検討**



▲落ち葉下のウスバサイシンの花

ジオパークとは・・・地球の重要な自然遺産を含む、自然に親しむための公園のことで、「大地の公園」といわれております。2004年にユネスコの支援で世界ジオパークネットワークができ、世界各地で設置。現在、日本には世界ジオパークが5ヶ所、日本ジオパークが20ヶ所設置され、目指す地域が17ヶ所名乗りをあげています。

**渡辺** 昨年6月にも、石川にジオパークの設置を質問し、答弁は「検討課題」だったが、今、設置の考えは。

**町長** 考えは今までと変わっていません。何れ、鉱物は長期的計画をつくり、観光資源にも活用したい。

**渡辺** 来客2万人もある東京や大阪などで開かれている鉱物フェアを石川に誘致する考えは。

**町長** 積極的に誘致はしない。池袋のミネラルショウでの「石川の鉱物展」は非常に好評だった。

**渡辺** 旧鉱山跡が100ヶ所近くあるが、その保存の考えは。

**町長** 鉱物保護収集委員会の意見を聞いて、検討したい。

**渡辺** 石川での原爆製造研究の歴史や史跡を保存していくべきでないか。町の考えは。

**町長** 25年度に調査研究成果をまとめて本を出版し、企画展も予定しています。史跡もジルコン工場跡や石垣、水路など残っていますので、保存を検討したい。

👓 子どもの未来のために 👓

**憲法で守られている平和や平等を手放さないで**

新学期が始まりました。今年度も多くの子どもたちが希望を胸に新たなスタートを切りました。新しい世界との出会いに目を輝かせる子どもたち。成長への扉を開け大人への道を歩み出す子どもたち。そんな子どもたちを包むかのように、石川町の桜も満開の季節を迎えました。今出川や北須川の川岸に咲き誇る桜をめぐる人たちの表情も明るく、穏やかな年であって欲しいと願わずにはいられません。

桜が、世界に誇るべき日本の代表的な花というなら、日本国憲法は、日本が世界に誇ることできるすばらしい平和の礎ではないでしょうか。小学校6年生の社会科で初めて触れる憲法の重要性、平和も平等も当たり前のように感じられるのは、憲法があるからだと学びます。その憲法を「変えてもいい」という人がいます。「本当に変えてしまっているのですか?」「どうかえたいのですか?」と尋ねると、「何となく」「政治家が言ってたから」…。本当にそれでいいのでしょうか。とても怖いと思います。

子どもたちの未来を大切に思うなら、先ず大人が平和や平等を手放さないで欲しいです。そして、流れや何となくで、憲法を手放さないで欲しいのです。

参議院選挙が3か月後にやってきます。憲法を守る大切な選挙です。(K. H)



◀黄色の実をつけるモミジ  
イチゴの白い花

**石川中学校耐震・大規模改修事業に  
3億8千7百万円を予算化**

今議会で、24年度一般会計で4億8千万円増の補正予算を可決しました。内容は中学校の耐震・大規模改修工事3億8千万円と積立金1億5千万円に伴うものです。

しかし、3月までに事業が終わらず、25年度に繰越す事業も多く、繰越額は6億2千万円となります。

**石川町史編さん事業が終了  
全8巻の町史が発刊**

3月で、16年に及び町史編さん事業が終了しました。歴史をつくり、歴史から学ぶのは人間だけです。

石川を知り、石川に愛着を持ち、発展させるためには、町史から、先人から学ぶことではないでしょうか。

◎町の新年度事業(新規・拡大)の主なもの…

新庁舎5千5百万円、統合小学校建設6千4百万円を予算計上

まちなか再生行動計画の策定

目的：まちなかの賑わい創出を図る。  
計画策定：4月にまちなか再生委員会を設置。12月までに策定  
事業実施：26年度から事業化  
予算額：4,974千円



▲雑木林に咲いているアオキの雄花

鈴木重謙宅門復元

目的：自由民権史跡、鈴木家の門を復元、史跡公園整備  
予算額：14,033千円

防災ラジオの配置

目的：防災無線の難聴地区解消。  
配置台数：4,500台(各戸に貸与)  
予算額：50,715千円

農業再生専門委員配置

目的：原発事故後の農業再生、営農指導と新規就農者の育成。  
人員：専門員1名、1年間  
予算額：2,607千円

離職者雇用補助金

対象：平成24年4月～26年3月の間に1年間雇用  
雇用形態：期間雇用でなく、労働時間は正規と同程度  
予算額：6,000千円

石川駅公衆トイレ新築

目的：駅構内公衆トイレを新築  
予算額：31,300千円

総合体育館太陽光発電設置

目的：災害時避難所機能充実  
予算額：50,000千円

農業排水路改修

改修箇所：谷地字関本内地内  
延長：650m  
予算額：49,200千円

統合小学校建設事業

目的：実施設計及び設計業務管理委託料  
予算額：64,550千円

小中学校準備委員会の設置

目的：円滑な統合推進のため  
協議事項：校章・校歌選定、跡地利用、教育目標・教育課程、通学  
委員数：80名以内  
予算額：3,306千円

新庁舎建設事業

目的：基本設計、実施設計委託  
予算額：55,821千円

周産期・小児地域医療支援講座

目的：公立岩瀬病院及び福島病院への医師派遣のための負担金  
予算額：2,960千円

4月、山橋地区に咲いている花たちです。



▲日当たりの良い林に下向きに咲くシュラン



▲名前の元祖スマレ



▲小さいころ実を食べていたウグイスカズラ



▲繁栄を願う花フッキソウ



▲皮膚病の外用薬となったクサノオウ



▲多年草のキジムシロ